

I 急病のときの対応

9. 吐いたとき

家庭での処置

1. 衣服をゆるめ右側を下にして横向きに寝かせ安静にする。
2. 吐物の性状確認(におい、色、形状など)。
3. 吐き気があればすべて吐かせてしまう。背中をさすったり、水分をとらせると吐きやすくなる。
4. 吐いたあとは、うがいしたり口の中をぬぐってきれいにする。
5. 絶食として、水分を少量ずつ与える。



その後の対応

レベル1 家庭で経過をみる、又は翌日に病院受診

機嫌もよく水分を与えても頻回に吐かない。

レベル2 その時点で病院受診

頻回に吐いたり、水分をほとんど取れない。激しい腹痛や頭痛などの症状がある。高熱を伴う。下血、吐血及びひどい下痢がある。

レベル3 緊急に病院受診、救急車要請

吐いた後に呼吸が苦しくなっている。

家庭で看る時のポイント

<嘔吐>

何か口に出来そうだと思っても、最初は水分(水、番茶、イオン飲料、スープなど)、2~3口程度を5~10分置きに与えるようにし、5、6回試して大丈夫なら、吐き気は落ち着いたと考えて静かに様子を見ましょう。本人の希望があればさらに水分を取らせます。

5~15分ごとに機嫌が良くなったり悪くなったり、血便を伴う嘔吐は腸重積という急を要する病気の可能性がありますからすぐに受診しましょう。

乳児の嘔吐で哺乳後数分から1時間の嘔吐は大量でもその後機嫌が良ければ、胃にたまった空気が出てきただけのことが多いので様子を見ましょう。

哺乳するたびに毎回大量に嘔吐するときは、元気なら翌日、元気がなくなっていればすぐ病院を受診しましょう。

<脱水>

脱水の原因は嘔吐、下痢、発熱、暑い環境での運動等色々です。それぞれの症状に関しては他の項目を参考にしてください。

のどをうるおす程度なら、その時に口にできる物で良いのですが、できれば塩分を含む、小児用イオン飲料(スポーツドリンク)、スープなどを与えます。

口が乾燥気味で、機嫌が悪いか、すぐ寝てしまう。刺激に対し反応が鈍い。目がくぼんでいる。呼吸が速い時は重症になりうるのですぐに受診しましょう。

意識がない。唇が紫色。冷や汗をかいてぐったりしている時はすぐに救急車を呼びます。